

調布市民のみなさん

このニュースは、毎月11日に行なっている「原発ゼロ」調布行動をめぐる情報を交流するものです。

今日は、フクシマ原発事故（東日本大震災）から13年6カ月となった9月11日（水）の「第141回行動」の報告と、10月11日（金）に予定する「第142回行動」のご案内をお届けします。
(編集者)

原発は事故では放射能で人を殺し 戦争では標的となって人を殺す！ 猛暑のもと65人！ 第141回「原発ゼロ」調布行動



今回の司会・進行は「原発のない暮らし@ちょうふ」のみなさん。司会は佐橋正文さん、スピーチ調整は堀北理枝子さん、記録は菅野千文さん。音響装置とハンドマイク準備はいつもの鈴木勝雄さん、写真記録はむらき数子さん。



◆歌：鈴木勝雄さん、小林優さん：ピースウェイブ／群青

◆司会／佐橋正文さん（東つつじヶ丘）：原発は動いていないが東京の電気は足りている。東京から116kmのところにある危険な東海第二原発がある。事故が起きれば東京には住めなくなる。



◆河野良彦さん（布田）：核は人類が手を付けてはいけない技術だ。私は14歳で広島で被爆した。その後新しい機械の開発に携わってきたが、どんな機械も開発の途中で故障すれば原因を調査し、改良することにより安全性を高め、人類に幸福をもたらしてきた。しかし原子力は違う。人が近づくことができない放射能を出し、いまだに分らないことばかり、永久に利用できないものだ。戦争が起きれば原発がターゲットとなるリスクが高い。二度と大きな事故を起こさないうちに廃炉にすべきだ。

◆司会／佐橋正文さん（東つつじヶ丘）：原発の廃炉には23兆円かかると言われている。六ヶ所村の再処理工場稼働は27回目の延長申請をした。

◆沼倉潤さん（多摩市）：東海第二原発再稼働反対運動をしている。東海第二は日本原電の原発だが、経営破綻し東電など大手電力会社から資金援助を得て、原発を維持している。しかし昨年、防潮堤工事での欠陥が内部通報により発覚した。また同じく日本原電の福井県敦賀原発二号機は、原子力規制委員会が建屋の直下に活断層があることが認められ、審査は不合格となった。しかし廃炉を決定しない限りは、稼働していなくても年間1千億円の資金援助が得られる仕組みとなっている。つまり我々の電気代で原発が維持され続けているので、廃炉に追い込む以外にない。

◆小野和子さん（染地）：東海第二原発は危険、福島原発の燃料デブリ取り出しも失敗続きだ。10月12日（土）午後2時～14時～調布市民プラザあくろすホール2にて沖縄のドキュメンタリー映画「琉球弧を戦場にすな」上映会があるので、ぜひご参加を。

◆歌：杉崎哲夫さん（国領）：「路上より愛をこめて」（“よいやさー よいやさー よいやさー さっさー いやさー いやさー 原発いやさっさー”と元気の出る歌でした）



◆歌：鈴木勝雄さん、小林優さん：「海を汚したのはだれ？」

第142回「原発ゼロ」調布行動

日時：2024年10月11日（金）

10時半～11時半 於：調布駅前

次回は10月11日（金）。福島原発事故から13年7カ月目、「調布行動」として

は第142回目の行動です。9月～10月の企画・進行・司会は「原発のない暮らし@ちょうふ」のみなさんが受け持ってくれています。

参加される方は、それぞれの思いをプラカードやミニカードに書いて集まりましょう。どんなことでもいいから「ひとこと」は言ってやろうというトークの準備もしてください。色んな人が、短くてもいいから「ひとこと」を！と願っています。

準備してきたのにトークができなかった場合、メモを編集部にいただければ、このメールでみなさんに伝えます。

***木陰を奪われてしまった駅頭は、炎天下では焦熱地獄です。日傘や飲料水など、熱中症対策には各自で念を入れましょう。**

*小雨の場合はプラカードを持ってスタンディングなど、可能な範囲の行動に切り替えます。大雨の場合は、参加者各自でご判断を！

なお、7月以降の「窓口さん」は、以下のように申し合わせていますが、われこそはというグループはど、ぜひとも名乗り出て、輪番に加わってください。「1回だけ受け持ってみよう」というグループも大歓迎です。

141～142回（9～10月）

@ちょうふ

143～144回（11～12月）

調狛合唱団有志

145～146回（25年1～2月）

アネモネ会